

浅間隠山(1754m)山行報告

【山行日】2016年12月25日(日) 快晴
【集合】岩舟支所P AM 6:00
【費用】マイカー1台 : 2,200円
【メンバー】CL:鈴木 ヨ 大久保、大西、島田、
関、津佐、鶴見、渡辺ト

【コースタイム】岩舟支所P6:00⇒はまゆう山荘
8:00/8:10⇒登山口 P8:25/8:45⇒尾根 9:00/9:10⇒
南峰 10:10⇒浅間隠山 10:30/10:50⇒尾根 11:40⇒
登山口 P12:05/12:15⇒はまゆう山荘 12:30/14:05
⇒道の駅「くらぶち小栗の里」14:45/15:00⇒
岩舟支所 P16:30

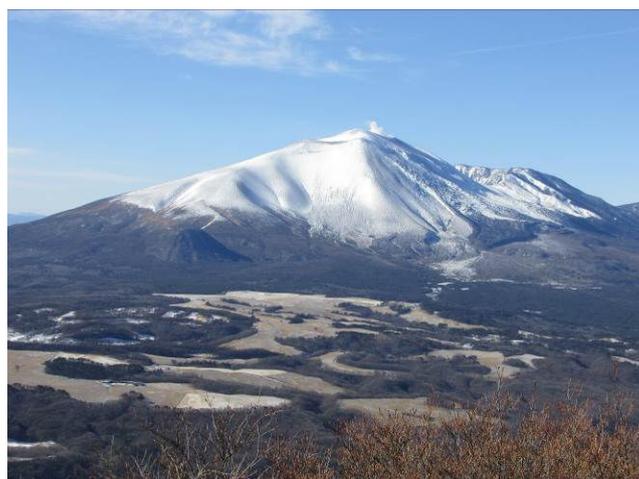


毎年恒例の浅間隠山雪山トレーニングを計画した。今回は、3名のキャンセルがあったが、体験山行で2名の参加があり、賑やかな雪山トレーニング山行となった。ところが、11月上旬並みの暖かい日が続き、はたして雪山トレーニングが出来るのか心配しながら登山口に向かった。途中、はまゆう山荘に寄り、トイレを借りて温泉と昼食の予約をした。はまゆう山荘から山道に入るが、雪はほとんど無く日陰に風花の雪がうっすらとあるだけで、周辺の山にも雪は見られなかった。登山口に着くと雪は見当たらず、路肩に数台車が止まっていた。我々はすぐ上の駐車場に車を止め、登山の準備をする。一応、念のためアイゼンは持つよう指示し、ストレッチ後自己紹介を行って出発する。登山口から小さな沢を登り、カラマツ林の斜面を九十九折れに登ると尾根に出る。ここで体験参加の方にザックのパッキングの仕方や背負い方、山の歩き方を簡単に説明しながら進む。北軽井沢への道を

を左に分け、右に曲がった箇所はいつもなら雪の吹き溜まりで膝上くらいの雪があるが、今回は全く雪が無かった。天気は無風快晴の最高の好天に恵まれ、自然林の陽だまりを気持ちよく登って行く。

高度が上がると、左後方に真っ白な浅間山が見えるようになり歓声が上がる。

丁度中間点付近の樹林の平らな場所で休憩し、トマトとキーウフルーツを食べ水分を補給する。ここから南峰までは急な登りが続くが、浅間山や上越の山々が見えるようになり疲れを癒してくれる。南峰まで登ると、右側に谷川連峰や上州武尊山から日光連山が見え、眺望を楽しみながら小休止する。山頂まではもう少し、両側の絶景を楽しみながら一歩一歩登って行く。山頂に着くと笑顔がはじけ、三角点にタッチしてから皆さんハイタッチで喜びを分かち合う。風も無く360度の大展望に皆さん興奮



気味で、写真を撮りまくっていた。体験山行のお二人も「こんなに簡単に登れ、素晴らしい眺望が見られるなんて」と驚いていた。境町名物の「ゆず饅頭」や佐野名物「新井屋の味噌饅頭」など、ご当地饅頭に舌鼓を打ちながら360度の絶景を楽しむ。皆さんの記念写真を撮ったら、名残惜しいが山頂を後にする。下山は



花等お土産をゲットし岩舟に向かう。

車中、体験山行のお二人もすっかり皆さんと馴染んで会話が弾み、両名とも入会されることになった。帰路は前橋ICから高速に乗り、北関東道を通り予定通り岩舟支所に帰着した。

来た道に戻るが、うっすら積もった風花の雪が滑るので、慎重にゆっくりと降りる。登りに休憩した場所で、Sさんのイチジクを食べ小休止。傾斜が緩くなると、皆さんの歩きにも余裕が出ておしゃべりに花が咲く。無事に下山し靴を履きかえたらはまゆう山荘に向かう。「美肌の湯」の温泉にゆっくり浸かり、汗を流して疲れを癒す。

温泉の後はレストランで、名々が好きなものをオーダーし空いたお腹を満たす。名物の「海軍カレー」や「上州おっ切り込み定食」、両方食べられる「豪華ランチ」など好きなものをいただいた。

帰りに道の駅「くらぶち小栗の里」に寄り、野菜やお